



第十八回

Modern Japanese Song Society
日本歌曲協会

Modern Japanese Songs with Traditional Instruments (Vol.18)
A Collection of New Vocal Works

邦楽器とともに

— 新作歌曲を揃えて —

2023年
10月31日(火) 18時30分 開演
18時 開場

東京文化会館小ホール

JR上野駅公園口正面 東京ストロ上野駅7番出口より徒歩5分
京成上野駅正面口より徒歩7分
東京都台東区上野公園5-45 〔電話〕03-3828-2111

5,000円—2,000円(学生券)—全席自由

【チケット取扱い】 (Ticket Office)

日本歌曲協会事務局
(Modern Japanese Song Society)

Mail : info@nikakyou.org

Fax : 03-6459-5458

HPチケット案内: 下記QRコードから

東京文化会館チケットサービス
(Tokyo Bunka Kaikan, Ticket Service)

Tel : 03-5685-0650

http://www.t-bunka.jp/ticket/

チケットぴあ (Ticket Pia)

[Pコード248115]

ローソンチケット (LAWSON Ticket)

[Lコード72175]

【お問い合わせ】 (Contact Info.)

Tel : 03-6421-2105

(日本歌曲協会 Modern Japanese Song Society)

Tel : 080-3012-3817 (森田 Morita)

【主催】 日本歌曲協会 (Modern Japanese Song Society)

http://www.nikakyou.org/

【後援】

(一社) 日本作曲家協議会

(特非) 日本現代音楽協会

(公財) 日本伝統文化振興財団

邦楽ジャーナル

大日本家庭音楽会

(一社) 全国邦楽器組合連合会

東京邦楽器商工業協同組合

【協力】

作曲家グループ<邦楽2010>

おことこの店 谷川/深海邦楽会

(株) オフィスルナビエナ

(株) クレセント

○Tuesday, October 31, 2023, 6:30 p.m.
(doors open at 6:00 p.m.)

○Tokyo Bunka Kaikan, Recital Hall
(In front of the Park Exit, JR Ueno Station.
Tel: 03-3828-2111)

Admission fee Adults ¥5,000 Students ¥2,000



◀ 日本歌曲協会HPチケット案内
※最新の開催情報はHPをご覧ください。

第一部

備

— 兵馬備素描 —

詩・原かずみ

曲・神坂真理子

歌・加川文子 (S)

二十五絃箏・金子展寛

尺八・坂田梁山

自然と人生

詩・徳富蘆花

曲・菅野由弘

歌・下野戸亜弓(箏歌)

箏・平田紀子

薩摩琵琶・首藤久美子

「お笛恋語り」より 星の嫁入り

詩・清岳こう

曲・寺嶋陸也

歌・青山恵子 (MS)

三味線・崎秀五郎

わたし猫ですわ

詩・宮本苑生

曲・日高哲英

歌・大津佐知子 (S)

歌・安江秋 (S)

箏・木田敦子

十七絃・平田紀子

第一部

ノヴェンバー・ ステップス第十段

曲・武満徹

薩摩琵琶・首藤久美子

尺八・三橋貴風

海の声

詩・吉田義昭

曲・マーティン・リーガン

歌・藤井麻美 (MS)

十七絃・丸田美紀

篠笛・藤舎理生

島々・引き潮

詩・柳瀬丈子

曲・田丸彩和子

歌・山田美保子 (MS)

箏・木田敦子

十七絃・花岡操聖

三絃・平野裕子

防人の歌

— メソップラフ、テノール、
箏、低音二十五絃箏、
尺八のために —

詞・万葉集 / 「昭和萬葉集」より

現代語訳 / 編集・新美徳英

曲・新美徳英

歌・青山恵子 (MS)

歌・布施雅也 (T)

箏・帯名久仁子

低音二十五絃箏・金子展寛

尺八・田辺頌山

Modern Japanese Song Society Concert

日本歌曲のおもしろさを

日本語で歌うなら邦楽器とともに。帰結したのはごくシンプルな方法だった。ピアノ伴奏がすべてではないだろう。数百年かけて培われてきた日本の多種多様な音色が声楽に絡むことのおもしろさを思う。とは言え、これまでそんな音楽はほとんどない。新作歌曲の創造は18年に及び、編曲初演を含めると153曲にまで膨らんだ。その間、声楽は洋楽発声を基本に日本語に適した発音法を学び、邦楽器はジャンルを超えて最高の実力者が集うようになった。日本歌曲は進化し続ける。

邦楽ジャーナル編集長 田中 隆文

継続は力なり—未来の夢に向かって—

2005年、同志とともに～邦楽器と声楽のコラボ～を目指して活動を開始。翌春、上野旧演奏堂で第1回「邦楽器とともに」を開催。この試みに、当時は専門家も含め多くの人々が賛同とともに強い違和感を表明。以来、実力ある人たちの参加を求めつつ、作曲家は邦楽器への研鑽を積み、声楽家は日本語の発音法の研究を重ねた。結果、数年前から聴衆の反応に明らかな変化が現れ、このコラボが自然なものとして受け取られているのを肌で感じている。日本語の詩に外国人作曲家が作曲し、外国人のオペラ歌手と邦楽演奏家が演奏する、東西文化融合の実現もすぐそこまで来ている。

日本歌曲協会代表 森田 澄夫



木田 敦子

平田 紀子

崎 秀五郎

三橋 貴風

青山 恵子

坂田 梁山

首藤 久美子



藤井 麻美

帯名 久仁子

大津 佐知子

山田 美保子

丸田 美紀

布施 雅也

田辺 頌山



藤舎 理生

安江 秋

金子 展寛

平野 裕子

下野戸 亜弓

加川 文子

花岡 操聖



東京文化会館
東京都台東区上野公園5-45
Tel.03-3828-2111

JR上野駅公園口改札から徒歩約1分
京成上野駅、正面口改札から徒歩約7分
東京メトロ上野駅7番出口から徒歩約5分

賛助会員募集

当会の活動に広くご支援をお願いしたいと、賛助会員を募集しております。是非ご参加いただき、当会の活動の推進力になって下さいますよう、お願い申し上げます。

個人会員 10 1万円(何口でも可)
法人・団体会員 10 3万円(何口でも可)
加入者名 日本歌曲協会
郵便振替口座 00130-6-792383「日本歌曲協会」

 **日本歌曲協会**
Modern Japanese Song Society

日本歌曲協会は、詩人・作曲家・声楽家・邦楽演奏家の四者によって構成され、日本の伝統楽器を共演楽器として声楽家が歌う新しい日本の歌の創作、普及を図ることを目的とする団体です。演奏動画、好評配信中 詳しくはHPから▶

